

観点別評価(A B C)と評定(5 4 3 2 1)の関係

観点別評価・・・国語は5観点、その他の教科は4観点にわけ、各観点で生徒一人一人に
 「十分達成しています」 A
 「おおむね達成しています」 B
 「もう少し努力しましょう」 C
 とし、より細かい指導ができるようにしました。目標に準拠した評価です。

評定・・・目標に準拠した評価であり、観点別評価を総合して1～5までの5段階で表します。

例) ここでは計算を単純にするために、各項目100点満点で総合得点を400点満点で行ってみます。

観点項目	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	評定基準	評定
A		□ 100点	□ 100点	□ 100点	90%以上	5
80%以上	★ 80点	★ 80点	★ 80点	★ 80点	80%以上	4
80%未満	□ 75点				80%未満	3
B					50%以上	
50%以上	▲ 50点				50%未満	2
50%未満	△ 45点	△ 45点	△ 45点	△ 45点	20%以上	
C		▲ 5点	▲ 5点	▲ 5点	20%未満	1

観点別の満点 100点 100点 100点 100点 400点

総合成績は400点満点ですから次のようになります。

$$\begin{aligned}
 400 \times 0.90 &= 360 \text{ 点以上で } & 5 \\
 400 \times 0.80 &= 320 \text{ 点以上で } & 4 \\
 400 \times 0.50 &= 200 \text{ 点以上で } & 3 \\
 400 \times 0.20 &= 80 \text{ 点以上で } & 2 \\
 & 80 \text{ 点未満で } & 1
 \end{aligned}$$

生徒★は、A A A A	$80 \text{ 点} \times 4 = 320 \text{ 点}$	よって 評定は 4
生徒□は、B A A A	$75 + 100 + 100 + 100 = 375 \text{ 点}$	よって 評定は 5
生徒△は、C C C C	$45 \text{ 点} \times 4 = 180 \text{ 点}$	よって 評定は 2
生徒▲は、B C C C	$50 + 5 + 5 + 5 = 65 \text{ 点}$	よって 評定は 1

となります。

A A A Aの生徒の評定は4でしたが、少し頑張れば5になります。

C C C Cの生徒の評定は2でしたが、もう少し頑張ればBになり3にもなります。

B C C Cで1の生徒は観点別のCに力を入れ、努力すれば2になり、3にも近づきます。

このようにA B Cの3段階の総合成績として、5段階の評定になります。

ひばりが丘中学校では、この観点別評価と評定は、生徒一人一人を励まし、学習する意欲を喚起するものだと考えます。ご家庭でも是非、通知表の数値だけの話題に限らず、頑張った所を発見しあい、叱咤激励し、有意義な中学校生活を送れるようご支援をよろしくお願いいたします。